

製品名: XRCC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19971**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	XRCC1
別名	XRCC1; DNA repair protein XRCC1; X-ray repair cross-complementing protein 1
遺伝子 ID	7515.0
SwissProt ID	P18887
免疫原	抗血清はヒト XRCC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 517-566

背景

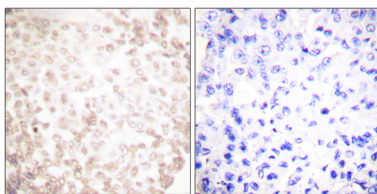
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、電離放射線およびアルキル化剤への曝露によって形成された DNA 一本鎖切断の効率的な修復に関与しています。このタンパク質は DNA リガーゼ III、ポリメラーゼ β 、およびポリ (ADP-リボース) ポリメラーゼと相

相互作用し、塩基除去修復経路に関与します。生殖細胞における減数分裂および組換えにおける DNA 処理において役割を果たす可能性があります。この遺伝子のまれなマイクロサテライト多型は、様々な放射線感受性の患者の癌と関連しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 電離放射線およびアルキル化剤による治療後に生じた欠陥のある DNA 鎖切断修復および姉妹染色分体交換を修正します。多型: 多型性 Gln-399 アレルのキャリアは、タバコおよび加齢に伴う DNA 損傷のリスクが高い可能性があります。PTM: Ser-371 のリン酸化は二量体の解離を引き起こします。CK2 によるリン酸化は APTX および APLF との相互作用を促進する。PTM: SUMO 化。類似性: 2つの BRCT ドメインを含む。細胞内局在: DNA 損傷部位に蓄積する。サブユニット: ホモ二量体。ポリヌクレオチドキナーゼ (PNK)、DNA ポリメラーゼ β (POLB)、DNA リガーゼ III (LIG3) と相互作用する。APTX および APLF と相互作用する。

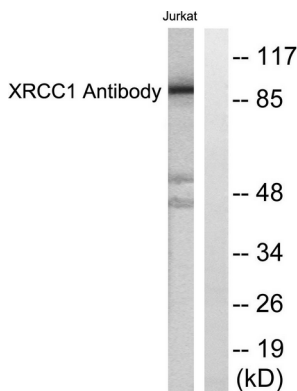
研究分野

塩基除去修復

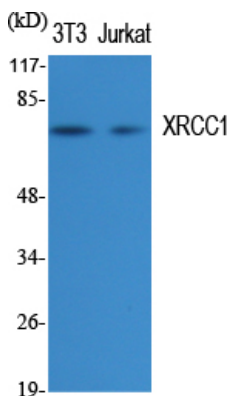
画像データ



XRCC1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



XRCC1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



XRCC1 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。